

chemSHERPA
化学品データ作成支援ツール
操作マニュアル
1.5版*

2017 年 12 月 20 日
chemSHERPA 事務局

*1.5 版はツール統合バージョン 1.05.00 以降用です。

主な変更履歴

版数	変更日	変更内容	変更理由
1.0 版	2015/10/1	初版発行	
1.1 版	2016/1/26	3.5.4. 「起動時に画面のレイアウトが崩れている場合」を追加	
		6.1. 古いバージョンのデータを取り込んだ場合、成分情報のステータスを一時保存に戻す処理を追加	
		13.3.2. 成分情報画面から基本情報画面に移動した場合、統合バージョン情報が最新化される説明を追加	
1.2 版	2016/7/14	全般 日付修正（時限装置日付等）、貼り付け画像最新化	ツールバージョンアップに伴う変更対応（1.02.00）
		3.1. 起動エラー時の対応に「Chemical.exe をクリックしても何も起きない場合」を追加	
		3.5.6 その他エラーに「CLR エラー」「セキュリティ」メッセージが表示される場合を追加	
1.3 版	2017/2/6	1.2 動作環境に、Windows10.0 を追加	ツールバージョンアップに伴う変更対応（1.03.00）
1.4 版	2017/7/20	3 ファイル構造変更により、フォルダ名等を更新	ツールバージョンアップに伴う変更対応（1.04.00）
		11.1 EC 番号検索時の留意点を追記	
		13.4 システム情報の確認を追加	
		全般 ファイル出力時、ファイル読み込み時のパス長についての注意事項を追加	
1.5 版	2017/12/20	1.2 動作環境について、Windows Visata を削除、Excel 2016 を追加	外部環境の反映

1.	はじめに.....	1
1.1.	本書について.....	1
1.2.	動作環境.....	1
1.3.	免責事項.....	1
1.4.	著作権・使用権.....	1
1.5.	用語の定義.....	2
2.	ツールの概要.....	3
2.1.	ツールの目的.....	3
2.2.	ツールの利用用途.....	3
3.	ツールの起動.....	4
3.1.	事前準備.....	4
3.2.	ファイルの解凍.....	4
3.3.	外部リストやフォルダの配置.....	5
3.4.	プログラムの実行.....	6
3.5.	起動エラー時の対応.....	7
4.	chemSHERPA データの作成、閲覧.....	9
4.1.	chemSHERPA データの作成.....	9
4.2.	chemSHERPA データの閲覧.....	9
4.3.	基本的な作業フローと操作マニュアルの該当箇所.....	10
5.	新規にデータを作成する.....	12
5.1.	発行者情報を入力する.....	12
5.2.	製品・部品情報を入力する.....	13
5.3.	成分情報を入力する.....	13
5.4.	エラーチェックする.....	13
5.5.	データを保存する.....	14
5.6.	データを承認者に送付する.....	14
5.7.	ツールを閉じる.....	15
6.	作成済の chemSHERPA データを流用して作成する.....	16
6.1.	作成済のデータを読み込む.....	16
6.2.	必要に応じてデータを変更する.....	16
7.	現行スキームデータを流用して作成する.....	17
7.1.	現行スキームのデータを読み込む.....	17
7.2.	必要に応じてデータを変更する.....	17
8.	依頼データを作成する.....	18
8.1.	依頼者情報を入力する.....	18
8.2.	製品・部品情報を入力する.....	19
8.3.	依頼データを保存する.....	19

8.4.	データを調査先に送付する	20
8.5.	ツールを閉じる	20
9.	依頼データを受けて、回答を作成する	21
9.1.	依頼のデータを読み込む	21
9.2.	依頼内容を確認する	21
9.3.	回答を記入する	21
10.	承認データを作成する	22
10.1.	承認するデータ(一時保存ファイル)を読み込む	22
10.2.	製品・部品情報を確認する	22
10.3.	成分情報を確認する	23
10.4.	承認者情報を入力する	24
10.5.	エラーチェックする	25
10.6.	承認してデータを保存する	25
10.7.	データを承認要求者に送付する	27
10.8.	ツールを閉じる	27
11.	成分情報の入力	28
11.1.	物質情報の入力（「物質検索」機能を利用して入力する場合）	28
11.2.	物質情報の入力（「物質検索」機能を利用せずに、手入力する場合）	29
11.3.	物質含有率、コメント、該当情報の入力	29
11.4.	エラーチェックして、確定する	30
11.5.	他の画面に遷移する	31
12.	作成済の chemSHERPA データを閲覧する	32
12.1.	作成済のデータを読み込む	32
12.2.	承認済みデータかどうか確認する	32
12.3.	発行者・承認者情報を確認する	32
12.4.	その他の情報を確認する	33
13.	その他の機能	34
13.1.	帳票出力	34
13.2.	表示言語の切替	35
13.3.	バージョンの確認	35
13.4.	システム情報の確認	36
13.5.	出力状況の確認	37
13.6.	画面サイズ変更	37
13.7.	データ部分のサイズ変更	38
13.8.	ソート機能	38
14.	補足情報	40
15.	MSDSplus→chemSHERPA コンバート仕様	41

1. はじめに

1.1. 本書について

本書は chemSHERPA 入力支援ツール・コンバータ（化学品）の操作説明書です。

1.2. 動作環境

本ツールの動作環境は以下の通りです。

動作環境	
分類	バージョン
OS	Microsoft Windows 7、8、8.1（32bit）、8.1（64bit）、10.0(32bit)、10.0（64bit）
画面解像度	XGA(1024×768)以上(推奨環境:1280×800 以上)
Windows フォントサイズ	小、中（推奨環境:小）
Microsoft .Net Framework Full 版	4.0、4.5
Microsoft Excel	2007、2010、2013、2016
コンバート関連バージョン	
分類	バージョン
MSDSplus	Ver4.0、Ver4.1

1.3. 免責事項

別途定める予定。

1.4. 著作権・使用権

別途定める予定。

但し、本ツールは GrapeCity 社の「SPREAD for Windows Forms」を利用しており、以下に著作権を明記する。

「SPREAD for Windows Forms,Copyright (C) 2004-2012 GrapeCity inc. 」

1.5. 用語の定義

名称	説明
IEC62474	2012 年 3 月に発効した国際規格（規格名称：電気・電子業界及びその製品に関するマテリアルデklarレーション）であり、サプライチェーンの各社間で流通するマテリアルデklarレーション（構成材料／含有物質の情報伝達）に求められる各種の要件（基本要件とオプション）、対象とする化学物質の選定基準やデータ交換の方法について規定している。対象とする化学物質リストは法規制などの動向により見直す必要があり、データ交換の仕様（XML スキーマ）も改善が必要とされる場合があるため、IEC62474 本文には含めず、IEC が運営管理する公開データベース（IEC62474 データベース）に掲載することにより、適宜改訂が可能な方法を採用している。
成分情報	含有化学物質の含有量（率）を記載するもの。
現行スキーム	製品含有化学物質情報の伝達の為の標準スキームのうち、現行利用されているもの。（JAMP-MSDSplus）
外部リスト	対象化学物質や法規制の変更に対応するため、マスタ情報をツール本体とは別に管理しているファイルのこと。 ・ Data フォルダ配下の「iec01.db3」

2. ツールの概要

2.1. ツールの目的

本ツールは、化学品の含有化学物質の成分情報を伝達するためのツールです。

IEC62474 を含む chemSHERPA で採用した管理対象基準に基づく物質リストに対応し、出力形式は、IEC62474 スキーマを採用しています。

国際標準（IEC62474）に対応した、化学物質標準フォーマットの作成を支援する事が本ツールの目的となります。

chemSHERPA データの入出力機能、JAMP-MSDSplus からのデータコンバート機能を有します。

2.2. ツールの利用用途

以下のようなデータの入力が可能です。

- 新規にデータを作成する
- 既存データを流用して作成する
 - 作成済のデータを利用する
 - 現行スキームのデータを利用する
- 依頼データを作成する
- 依頼データを読み込んで、回答データを作成する
- 承認する

3. ツールの起動

3.1. 事前準備

本ツールを利用するには「Microsoft .Net Framework 4」がインストールされている必要があります。

- OSが「Windows 7」の場合

Microsoft 公式ページから「Microsoft .Net Framework 4」をダウンロードして下さい。

(ご参考) Microsoft 公式ページ：操作マニュアル改版時点の情報

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=17718> または

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=17851>

ダウンロード後、画面の指示に従って.NET Framework 4 をインストールして下さい。

- OSが「Windows 8」または「Windows 8.1」の場合

デフォルトで Microsoft .Net Framework がインストールされているため、事前準備は不要です。

コンピュータ上から Microsoft .Net Framework をアンインストールしている場合は、「OSが「Windows 7」の場合」を参照し、インストールして下さい。

3.2. ファイルの解凍

- ① chemSHERPA 運用団体から配布された化学品ツール「cS-CI(X.XX.XXJP).zip」を C ドライブ直下等の任意のフォルダに解凍します。
- ② 解凍先フォルダに「chemSHERPA」フォルダが展開される事を確認します。

※ツールの注意点

- 本ツールには、時限機能が実装されています。
以下の条件に該当する場合、ツールを起動する事が出来ませんのでご了承下さい。
➤ 一定期間を過ぎた場合(具体的な日付は「リリースノート」をご覧ください)

3.3. 外部リストやフォルダの配置

cS-CI(X.XX.XXJP) *X.XX.XX はバージョン(例 : 1.04.00)


	└─CHEMICAL	
	Chemical.exe	…ツール実行用 EXE
	Chemical.exe.config	…ツール実行用 dll パス記述ファイル
	Chemical.ini	…ツール設定ファイル
	└─Common	…ツール実行用共通定義ファイル
	└─Data	
	Chemical_(jpn/eng/chn).ini	…言語リソースファイル
	C_(P/A/C)_DevelopsForm.ini*	…ひな形ファイル
	IEC62474_Schema_X6.01_20150408.xsd	…スキーマ定義 XSD ファイル
	xmldsig-core-schema.xsd	…スキーマ定義 XSD ファイル
	iec01.db3	…外部リスト
	└─EXCEL	…EXCEL 出力テンプレートファイル
	Chemical_Template_(jpn/eng/chn).xlsx	
	└─Log	…ログ出力フォルダ
	└─Temp	…ワークファイル出力フォルダ
	└─Work	

【注意！！】

解凍した後に、絶対に外部ファイルやフォルダなどの構成変更、名称変更、移動、削除をしないで下さい。

* C_(P/A/C)_DevelopsForm.ini は、解凍時にはありません。ツール利用時に、発行者・承認者情報を入力、ひな形登録すると生成されます。

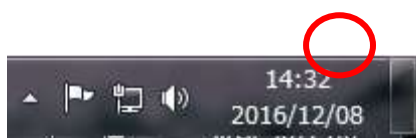
3.4. プログラムの実行

- ① 「CHEMICAL」フォルダの  (Chemical.exe) をクリックします。
- ② 正しく起動されると、基本情報画面が表示されます。



【注意！！】

- ・エラーが発生した場合は、「3.5 起動エラー時の対応」を参照下さい。
- ・PCの日付の表示は「西暦」設定にした状態で起動してください。



③表示言語の選択

初回起動時は「日本語」がデフォルトで表示されます。

言語を変更する場合は、「13.2 表示言語の切替」で切り替えて下さい。

3.4.1. 起動時に画面のレイアウトが崩れている場合

Windows フォントサイズ「中」の場合、ご利用している PC の画面解像度の設定によってはツール画面のレイアウトが崩れて表示される場合があります。

上記現象が発生した場合、Windows フォントサイズを「小」に変更いただくか、画面解像度を「1280×800」に変更いただくと改善されます。

3.5. 起動エラー時の対応

- 3.5.1. 「.Net Framework 4」以上をインストールしていない場合
以下のエラーが表示されます。



対応方法：「3.1 事前準備」を参照し、「.Net Framework 4」をインストールして下さい。

- 3.5.2. 「.Net Framework 4.0」の Full 版をインストールしていない場合
以下のエラーが表示されます。



対応方法：「3.1 事前準備」を参照し、「.Net Framework 4」をインストールして下さい。

- 3.5.3. 外部リスト (iec01.db3) が正規ディレクトリに存在しない場合
以下のエラーが表示されます。



対応方法：「Data」フォルダに正規の外部リスト (iec01.db3) を格納下さい。

- 3.5.4. 起動時に画面のレイアウトが崩れている場合

Windows フォントサイズ「中」の場合、ご利用している PC の画面解像度の設定によってはツール画面のレイアウトが崩れて表示される場合があります。

上記現象が発生した場合、Windows フォントサイズを「小」に変更いただくか、画面解像度を「1280×800」に変更いただくと改善されます。

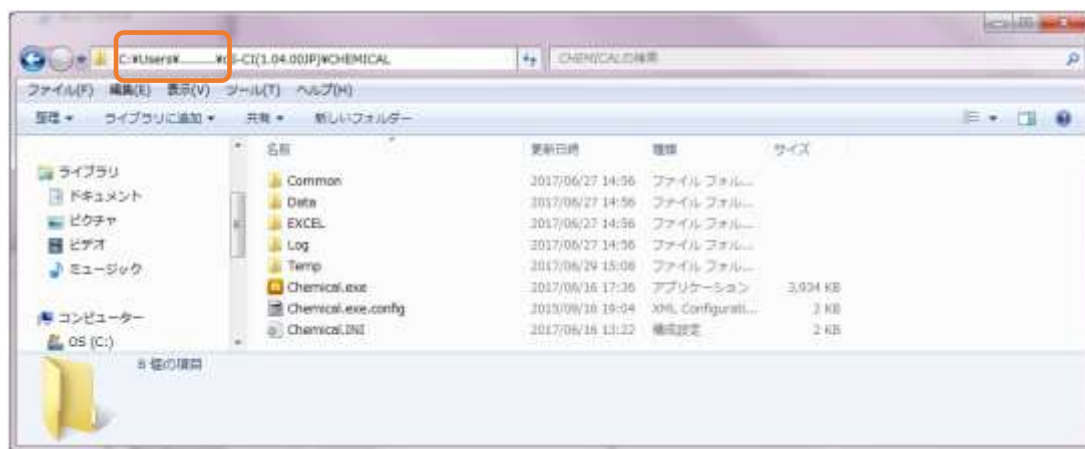
- 3.5.5. Chemical.exe をクリックしても何も起きない場合

・cS-CI(X.XX.XXJP).zip を解凍せずに直接開いた場合、Chemical.exe をクリックしても起動が出来ません。

エラー! 参照元が見つかりません。に記載の通り、予め cS-CI(X.XX.XXJP).zip を解凍してか

ら起動してください。

- ・「cS-CI(X.XX.XXJP)」フォルダまでのパス（下図赤枠）が長い場合、Chemical.exe をクリックしても起動が出来ません。



対応方法：パスが短いフォルダに「cS-CI(X.XX.XXJP)」フォルダを移動するか、「cS-CI(X.XX.XXJP)」フォルダを保存しているフォルダの名称を変更して、パスを短くして下さい。目安としてパスの文字列が 120 文字程度以下になるようにして下さい。

3.5.6. その他のエラーが発生した場合

以下は Chemical.ini が存在しない場合の表示です。



対応方法：「CHEMICAL」フォルダ配下の構成が正しくない可能性があります。

「chemSHERPA」フォルダを削除し、再度「cS-CI(X.XX.XXJP).zip」を任意のフォルダに解凍して下さい。

- ・「CLR エラー」や「セキュリティ」メッセージが表示される場合、「cS-CI(X.XX.XXJP)」フォルダまでのパスが長い場合があります。3.5.5 に記載の通り、パスを変更して下さい。



4. chemSHERPA データの作成、閲覧

4.1. chemSHERPA データの作成

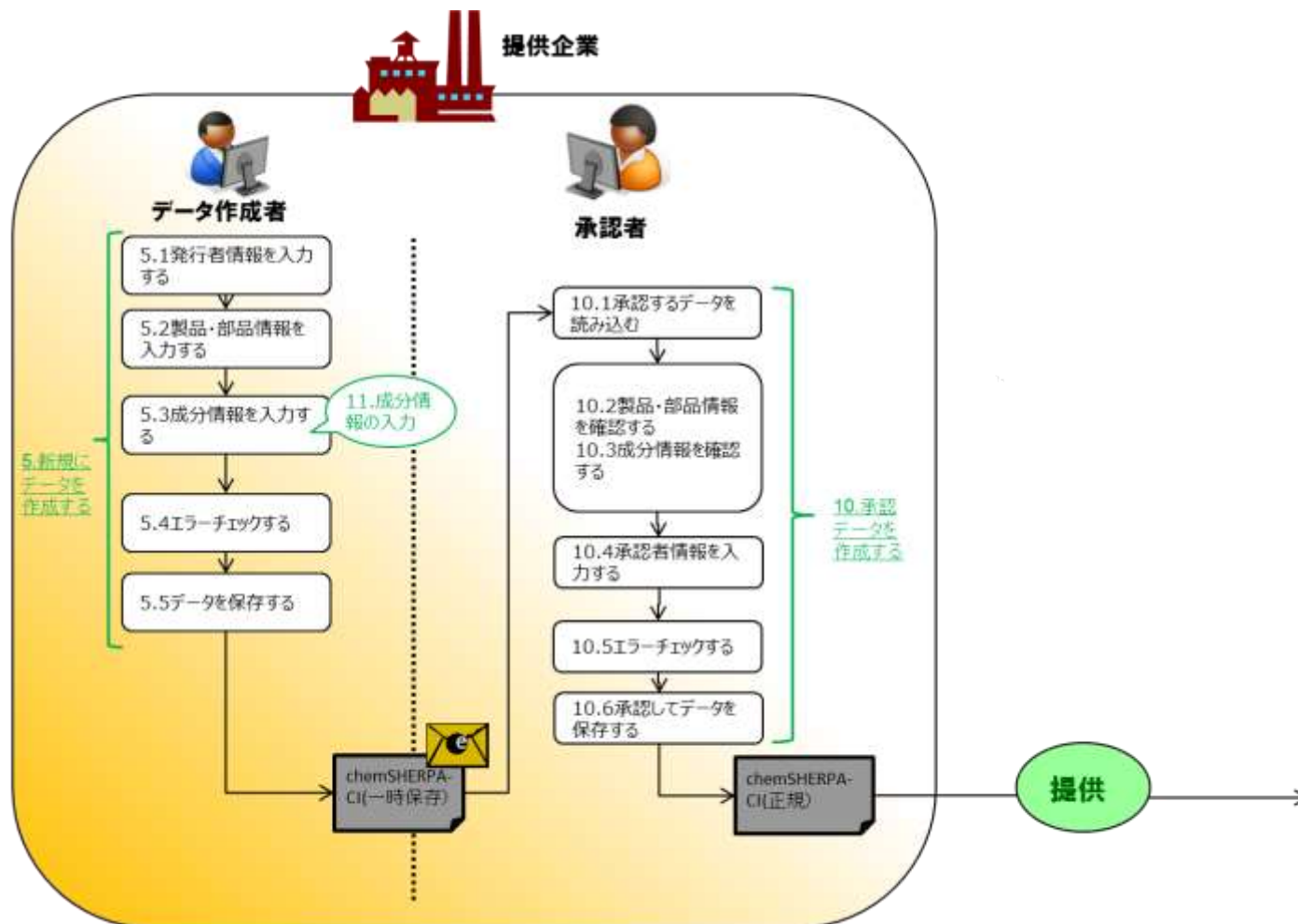
作成するデータの目的に応じて以下を参照下さい。

- 新規にデータを作成する → 「5.新規にデータを作成する」
- 既存データを流用して作成する
 - 作成済のデータを利用する → 「6.作成済の chemSHERPA データを流用」
 - 現行スキームのデータを利用する → 「7.現行スキームデータを流用して作成する」
- 依頼データを作成する → 「8.依頼データを作成する」
- 依頼データをうけて、回答を作成する → 「9.依頼データを受けて、回答を作成する」
- 承認する → 「10.承認データを作成する」

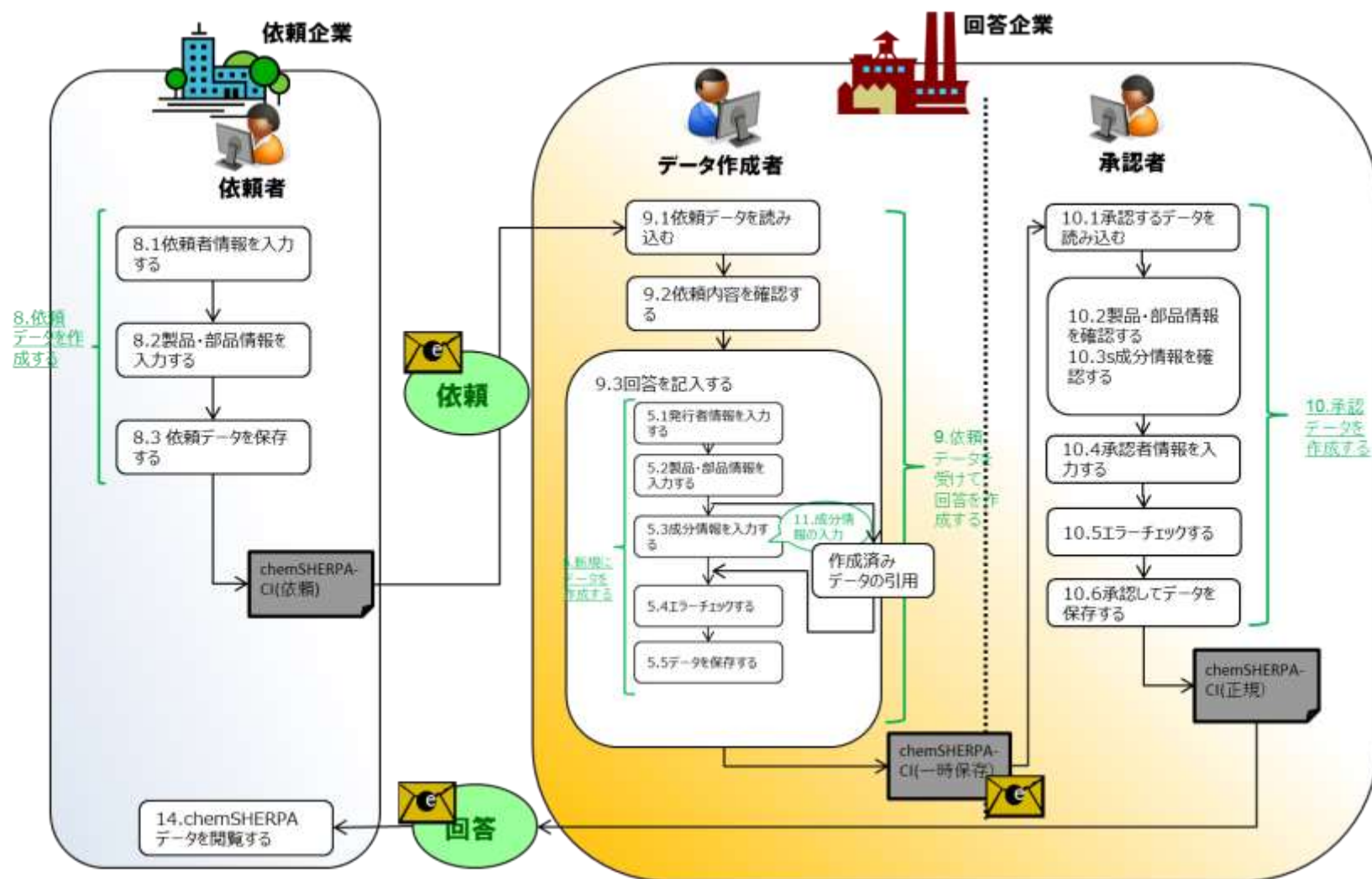
4.2. chemSHERPA データの閲覧

「12.作成済の chemSHERPA データを閲覧する」を参照ください。

4.3. 基本的な作業フローと操作マニュアルの該当箇所



新規にデータを作成して提供する場合の基本的なフローと操作マニュアルの該当箇所



依頼、回答の基本的なフローと操作マニュアルの該当箇所

5. 新規にデータを作成する

5.1. 発行者情報を入力する

ファイル 会社情報 言語(Language) ツール		
■ 基本情報 画面		
発行者・承認者情報		
① 整理番号	*	test
作成日	*	2014-12-12
承認日	*	<yyyy-mm-dd>
項目		英語 日本語
② 会社名	*	test company テスト会社
担当者名	*	
コメント		
承認者名	*	

※赤い*印がついている項目は入力必須です。

① 整理番号、発行日

データの整理番号、作成日を入力します。

② 会社情報、発行者情報

メニューバーの「会社情報」→「入力」→「発行者・承認者情報」を選択すると、

発行者・承認者情報画面が表示されますので、<<発行者情報>>の各項目を入力し「OK」ボタンを押下します。

ファイル 会社情報 言語(Language) ツール		
■ 基本情報 画面		
↓		
《発行者情報》	ひな形から展開	ひな形として登録
項目	英語	日本語
種類ID		
会社ID		
会社名		
部署名		
役職		
担当者名		
e-mailアドレス		
電話番号		
内線番号		
郵便番号		
国		
郵便町番		
市町村		
番地		

【補足】

- ・「ひな形から展開」 … 登録済の発行者情報を画面に読み込みます
 - ・「ひな形として登録」 … 発行者・承認者情報画面の発行者情報をツールに登録します
- ※ひな形は1ユーザ分のみ登録可能となっています。既にひな形が登録されている状態で「ひな形として登録」ボタンを押下した場合は上書きされます。

5.2. 製品・部品情報を入力する

全選択	製品情報						改訂履歴
	製品名	製品品番	メーカー名	シリーズ品名	発行日	改訂日	
					<yyyy-mm-dd>	<yyyy-mm-dd>	
1	製品 1	seihin-01	メーカー 1	シリーズ 1	2015-03-01	2015-03-01	

① 製品名、製品品番…を入力します。

【補足】

- ・「全選択」のチェック☑

製品品番が記載されているすべての行に選択チェック☑をします。

※「製品品番」欄に記入がない場合、選択チェック☑はできません。

- ・「削除」ボタン

選択にチェック☑がされている行の全ての情報を削除します。

- ・「作成済データ引用」ボタン

作成済の新スキームデータ（ファイル）を選択して、選択にチェック☑がされている製品・部品の成分情報を上書きします。

※取込対象となる圧縮ファイル（shci）内の製品が 1 件の場合のみ上書き可能です。

- ・「メニュー」→「ツール」→「追加取込」→「chemSHERPA データ形式」

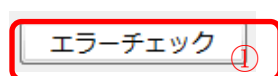
作成済の新スキームデータ（ファイル）を選択して、製品・部品情報に追加します。

5.3. 成分情報を入力する

製品を 1 つ選択して「成分情報」を押下し、成分情報を入力します。

「11.成分情報の入力」を参照下さい。

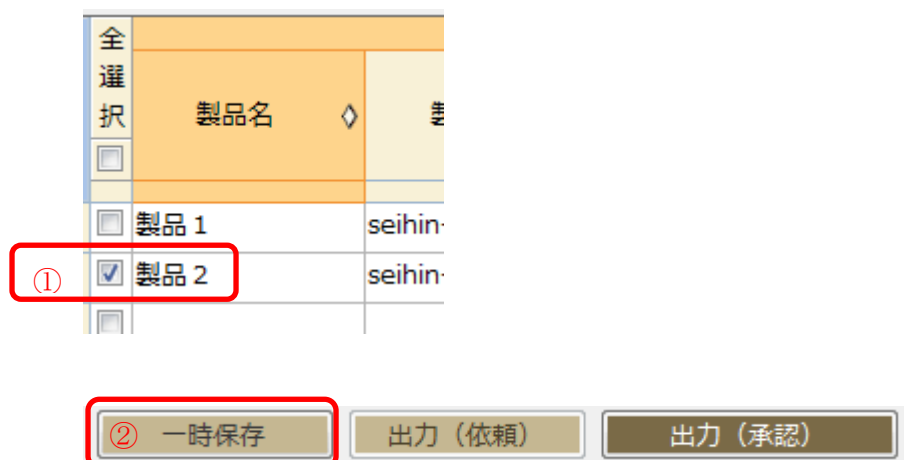
5.4. エラーチェックする



No.	種別	項目名	内容	詳細	エラー内容
1	エラー	基本情報	製品名	製品名	製品名が空です。
2	エラー	基本情報	製品品番	製品品番	製品品番が空です。
3	エラー	基本情報	メーカー名	メーカー名	メーカー名が空です。
4	エラー	基本情報	シリーズ品名	シリーズ品名	シリーズ品名が空です。
5	エラー	基本情報	発行日	発行日	発行日が空です。
6	エラー	基本情報	改訂日	改訂日	改訂日が空です。
7	エラー	基本情報	改訂履歴	改訂履歴	改訂履歴が空です。
8	エラー	基本情報	成分情報	成分情報	成分情報が空です。
9	エラー	基本情報	圧縮ファイル	圧縮ファイル	圧縮ファイルが空です。
10	エラー	基本情報	圧縮ファイル	圧縮ファイル	圧縮ファイルが空です。
11	エラー	基本情報	圧縮ファイル	圧縮ファイル	圧縮ファイルが空です。
12	エラー	基本情報	圧縮ファイル	圧縮ファイル	圧縮ファイルが空です。
13	エラー	基本情報	圧縮ファイル	圧縮ファイル	圧縮ファイルが空です。
14	エラー	基本情報	圧縮ファイル	圧縮ファイル	圧縮ファイルが空です。
15	エラー	基本情報	圧縮ファイル	圧縮ファイル	圧縮ファイルが空です。
16	エラー	基本情報	圧縮ファイル	圧縮ファイル	圧縮ファイルが空です。
17	エラー	基本情報	圧縮ファイル	圧縮ファイル	圧縮ファイルが空です。
18	エラー	基本情報	圧縮ファイル	圧縮ファイル	圧縮ファイルが空です。
19	エラー	基本情報	圧縮ファイル	圧縮ファイル	圧縮ファイルが空です。
20	エラー	基本情報	圧縮ファイル	圧縮ファイル	圧縮ファイルが空です。

① 「エラーチェック」ボタンを押下し、エラーが存在しないことを確認します。エラーがある場合は、エラーとなっている項目を、エラー内容を参考に修正します。

5.5. データを保存する



- ① 保存する製品・部品情報の選択にチェック☑を付けます。
- ② 「一時保存」ボタンを押下して、chemSHERPA データ（ファイル）を自身の PC 等に保存します。

一時保存したファイルの名称は、「SHCI_Temp_{※発行者または依頼者整理番号}_yyyymmddhhss.shci」となります。

※発行者整理番号が空欄の場合は依頼者整理番号、依頼者整理番号も空欄の場合は空欄

【注意！！】

- ・「製品・部品情報」の全行にチェックがついていない場合、以下のような警告が表示されます。



- ・保存の際、保存先のパスやファイル名が長すぎるとエラーになる場合があります。また、製品品番をファイル名に持つファイルを内包するため、製品品番が長すぎるとエラーになることがあります。目安として、保存先フォルダのパス長＋製品品番の文字列長が 200 を超えない程度にしてください。

5.6. データを承認者に送付する

作成したファイルを承認者にメール等で送付し、承認を依頼します。

5.7. ツールを閉じる

メニュー→「終了」を選択して、ツールを閉じます。

【注意!!!】

ファイルに保存していない製品・部品は、ツールを閉じると情報が消去されます。

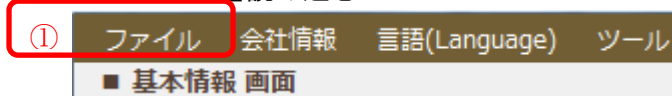
残したい情報がある場合は、選択にチェック☑をつけて、ファイルに保存して下さい。

ツールを起動してから一度も「一時保存」または「出力（承認）」をしていない製品・部品があると、終了時に以下のような警告が表示されます（「製品品番」欄に記入がある行のみがチェック対象となります）。



6. 作成済の chemSHERPA データを流用して作成する

6.1. 作成済のデータを読み込む



- ① メニュー→「ファイル」→「開く」→「chemSHERPA データ形式」で、作成済データを選択します

【注意！！】

- ・ 本操作を行うと、現在の画面表示内容が、読み込んだデータの内容で上書きされます
- ・ パス名とファイル名を合わせた文字列の長さが 200 文字を超えると、読み込めない場合があります。

6.2. 必要に応じてデータを変更する

「5.新規にデータを作成する」の手順に従い、必要に応じてデータを変更する。

7. 現行スキームデータを流用して作成する

7.1. 現行スキームのデータを読み込む



① メニュー→「ツール」→「MSDSplus」で、ファイルを選択します。

- ・「MSDSplus」を選択した場合：基本情報と成分情報がコンバートされます。

【注意！！】

- ・本操作を行うと、取り込み前に入力してある発行者情報、依頼者情報などは削除され、読込んだデータの内容で上書きされます。
- ・パス名とファイル名を合わせた文字列の長さが 200 文字を超えると、読み込めない場合があります。

ファイルを選択すると、コンバート処理が開始されます。

エラーが発生した場合、エラー一覧に表示されますので、内容を確認して下さい。



7.2. 必要に応じてデータを変更する

「5.新規にデータを作成する」の手順に従い、必要に応じてデータを変更する。

8. 依頼データを作成する

8.1. 依頼者情報を入力する

依頼者情報		
<input checked="" type="checkbox"/> 依頼者情報入力 ①		
整理番号	* request-0001	②
依頼日	* <yyyy-mm-dd>	
回答期限	<yyyy-mm-dd>	
項目	英語	日本語
会社名	*	③
依頼者名	*	
依頼者コメント		

※赤い*印がついている項目は入力必須です。

① 依頼者情報入力をチェックします。

【補足】

本チェックをつけることで、依頼者情報の入力が可能となります
また、チェックを外した場合、入力した依頼者情報はすべて削除されます。

② 整理番号、依頼日を入力します。また、必要であれば回答期限を入力します。

③ 会社情報、発行者情報を入力します。

メニューバーの「会社情報」→「入力」→「依頼者情報」を選択すると、依頼者情報画面が表示されますので、<<依頼者情報>>の各項目を入力し「OK」ボタンを押下します。

ファイル	会社情報	言語(Language)	ツール
■ 基本情報 画面			



依頼者情報		
項目	英語	日本語
依頼ID		
会社ID		
会社名		
部署名		
役職		
依頼者名		
e-mailアドレス		
電話番号		
内線番号		
郵便番号		
国		
郵便番号		
市町村		
番地		

8.2. 製品・部品情報を入力する

製品・部品情報		<input checked="" type="checkbox"/> 製品情報	<input checked="" type="checkbox"/> 管理情報	成分情報	作成済データ引用	削除	行追加
全 選 択	依頼者製品情報		製品情報				
	製品名	製品品番	製品名	製品品番	メーカー名	シリーズ品名	発行日
							<yyyy-mm-dd>
<input type="checkbox"/>	依頼製品 1	req-seihin-01					
<input type="checkbox"/>	依頼製品 2	req-seihin-02					

①依頼者の製品名、製品品番を入力します。

※依頼データ作成時は、原則上記以外の入力は不要です。製品情報列は回答者用の入力欄となります。

8.3. 依頼データを保存する

全 選 択		依頼者情報	
		製品名	製品品番
1	<input type="checkbox"/>	依頼製品 1	req-seil
2	<input checked="" type="checkbox"/>	依頼製品 2	req-seil
3	<input type="checkbox"/>		



一時保存	② 出力（依頼）	出力（承認）
------	----------	--------

① 出力（依頼）する製品・部品情報の選択にチェック☑を付けます。

② 「出力（依頼）」ボタンを押下して、chemSHERPA データ（ファイル）を自身の PC 等に保存します。

依頼データの名称は、「SHCI_Request_{依頼者整理番号}_yyyymmddhhss.shci」となります。

【注意！！】

・チェックされている製品・部品のみ、依頼ファイルの出力対象となります。

「製品・部品情報」の全行にチェックがついていない場合、以下のような警告が表示されます。



【注意!!!】

- ・保存の際、保存先のパスやファイル名が長すぎるとエラーになる場合があります。また、製品品番をファイル名に持つファイルを内包するため、製品品番が長すぎるとエラーになることがあります。目安として、保存先フォルダのパス長+製品品番の文字列長が 200 を超えない程度にしてください。

8.4. データを調査先に送付する

作成したファイルを調査先にメール等で送付し、回答を依頼します。

8.5. ツールを閉じる

メニュー→「終了」を選択して、ツールを閉じます。

【注意!!!】

ファイルに保存していない製品・部品は、ツールを閉じると情報が消去されます。
残したい情報がある場合は、選択にチェック ☒ をつけて、ファイルに保存して下さい。

9. 依頼データを受けて、回答を作成する

9.1. 依頼のデータを読み込む



①メニュー→「ファイル」→「開く」→「chemSHERPA データ形式」で、依頼のデータを選択します。

9.2. 依頼内容を確認する

依頼者情報		<input checked="" type="checkbox"/> 依頼者情報入力
整理番号	*	request-0001
依頼日	*	<yyyy-mm-dd>
回答期限		<yyyy-mm-dd>
項目		英語 日本語
会社名	*	test company2 テスト会社 2
依頼者名	*	test user3 テストユーザ 3
依頼者コメント		

基本情報画面に依頼者情報が表示されますので、依頼内容を確認します。

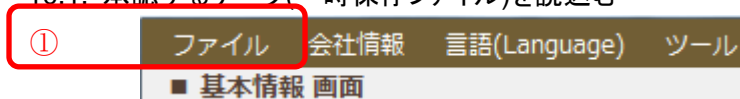
メニュー→「会社情報」→「入力」→「依頼者情報」で、詳細内容の確認ができます。

9.3. 回答を記入する

「5.新規にデータを作成する」の手順に従い、データを記入します。

10. 承認データを作成する

10.1. 承認するデータ(一時保存ファイル)を読み込む



①メニュー→「ファイル」→「開く」→「chemSHERPA データ形式」で、承認対象のファイルを選択します。

10.2. 製品・部品情報を確認する

製品・部品情報							
全選択		製品情報		管理情報		成分情報	
製品名 ▲		製品品番 ▲		メーカー名 ▲		発行日	
1	依頼製品 1	req-seihin-01	製品 1	seihin-01	メーカー 1	シリーズ 1	2015-09-14

①製品名、製品品番、管理対象物質の含有有無を確認します。

管理対象物質の含有有無 ◇
1. 含有有

②成分情報の入力状況が「確定」となっていることを確認します。

成分情報 ◇
2015-03-01 13:29確定

【補足】

入力状況は、成分情報の入力状況を示します。

- ・空白 → 未入力の状態
- ・一時保存 → 一時的に保存の状態（完成していない）
- ・確定 → 入力が完了している状態

10.3. 成分情報を確認する

全選択		依頼者製品情報		製品情報			
	製品名	製品品番	製品名	製品品番	メーカー名	シリーズ品名	発行日
1	依頼製品 1	req-seihin-01	製品 1	seihin-01	メーカー 1	シリーズ 1	2015-09-14

- ① 承認対象の製品の選択にチェック☑をつけます。
- ② 「成分情報」ボタンを押下し、成分情報画面に移動します。
- ③ 成分情報画面の内容を確認後、「基本情報画面に戻る」ボタンを押下します。

③ 基本情報画面に戻る

【注意！！】

成分情報画面で「確定解除」ボタンを押下すると、データが一時保存状態に戻ります。

・参照状態で成分情報画面を確認する方法

- ① 成分情報を入力している製品の管理対象物質の含有有無をダブルクリックします。

依頼者情報						成
製品名	製品品番	製品名	製品品番	改訂履歴	管理対象物質の含有有無	
依頼製品-001	req-seihin001	製品 1	seihin-01	1	1. 含有有	2015-03-0

- ② 「基本情報画面に戻る」ボタン以外の全てのセルが入力不可状態となるため、誤ってデータを更新する事なく成分情報画面が確認できます。

ファイル 会社情報 言語(Language) ツール		
■ 基本情報 画面		
発行者・承認者情報		
整理番号	*	test
作成日	*	2014-12-12
承認日	*	<yyyy-mm-dd>
項目		英語 日本語
会社名	*	test company テスト会社
担当者名	*	
コメント		
承認者名	*	syounin1 承認者 1

ファイル 会社情報 言語(Language) ツール

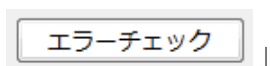


《株式会社情報》	ひなちから登録	ひなちとして登録
品名	華語	日本語
卸売元		
分類		
平均単価		
e-mailアドレス		
電話番号		
FAX番号		
郵便番号		
国	中国	
都道府県		
市町村		
備考		

- ・「ひな形から展開」… 登録済の承認者情報を画面に読み込みます
- ・「ひな形として登録」… 発行者・承認者情報画面の承認者情報をツールに登録します

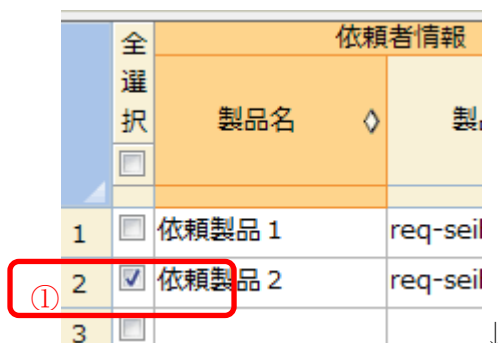
※ひな形は1ユーザ分のみ登録可能となっています。既にひな形が登録されている状態で「ひな形として登録」ボタンを押下した場合は上書きされます。

10.5. エラーチェックする



「エラーチェック」ボタンを押下し、エラーが無いことを確認します。エラーがある場合は、エラーとなっている項目を、エラー内容を参考に修正します。

10.6. 承認してデータを保存する



① 保存する製品・部品情報の選択にチェック☑を付けます。

【注意！！】

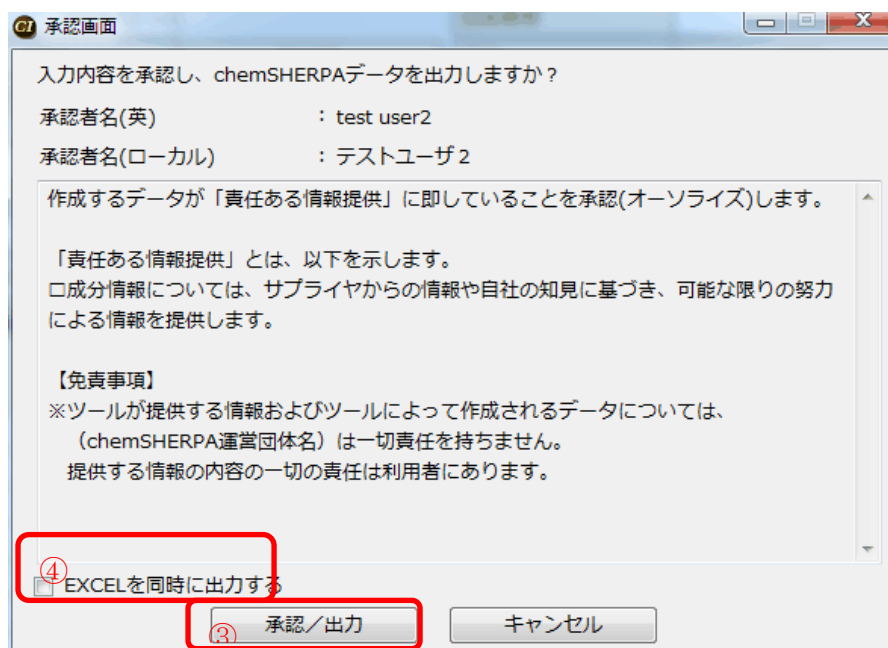
チェックされている製品・部品のみ、ファイルの出力対象となります。

全てを対象とする場合は、全てをチェックして下さい。（「全選択」をチェックすると、入力されている全製品（製品品番に入力があることが条件です）にチェックが入ります。）

「製品・部品情報」の全行にチェックがついていない場合、以下のような警告が表示されます。



- ② 「出力（承認）」ボタンを押下します。



- ③ 免責事項を確認して、「承認／出力」ボタンを押下し、chemSHERPA データ（ファイル）を自身の PC 等に保存します。

正式保存したファイルの名称は、「SHCI_{発行者整理番号}_yyyymmddhhss.shci」となります。

- ④ 「EXCEL を同時に出力する」にチェック ☒ をつけて「承認／出力」ボタンを押下し、chemSHERPA データ（ファイル）を出力した場合、同一フォルダに出力データの EXCEL 帳票（Zip 圧縮）が同時に出力されます。

出力 EXCEL 帳票のファイルの名称は、「(③で入力した chemSHERPA データ名称)_EXCEL.zip」です。

【補足】

pdf 形式が必要な場合は、EXCEL 形式で表示後、EXCEL の機能（またはプリンタドライバ）で変換して下さい。

【注意！！！！】

保存の際、保存先のパスやファイル名が長すぎるとエラーになる場合があります。また、製品品番をファイル名に持つファイルを内包するため、製品品番が長すぎるとエラーになることがあります。目安として、保存先フォルダのパス長＋製品品番の文字列長が 200 を超えない程度にしてください。

10.7. データを承認要求者に送付する

作成したファイルをメール等で返送します。

10.8. ツールを閉じる

メニュー→「終了」を選択して、ツールを閉じます。

【注意！！】

ファイルに保存していない製品・部品は、ツールを閉じると情報が消去されます。

残したい情報がある場合は、選択にチェック☑をつけて、ファイルに保存して下さい。

ツールを起動してから一度も「一時保存」または「出力（承認）」をしていない製品・部品があると、終了時に以下のような警告が表示されます（「製品品番」欄に記入がある行のみがチェック対象となります）。



11. 成分情報の入力

本画面は、成分情報の確認・編集をする画面です。

成分情報画面は、以下の方法で表示できます。

- ・ 基本情報画面で製品を1つ選択して「成分情報」ボタンを押下

【補足】

記入ルールについては、入力マニュアルを参照下さい。

11.1. 物質情報の入力(「物質検索」機能を利用して入力する場合)

成分情報 ※ctrl+マウススクロールで拡大縮小					物質情報更新	削除	全クリア
物質					任意報告		
物質名	CAS番号	最大含有率(%)	コメント		一括		
選択	行追加				該当		
① Toluene	108-88-3	50	コメント1				
② Formaldehyde	50-00-0	50	コメント2				

※赤い*印がついている項目は入力必須です。

- ① 物質を入力する行の物質セルを選択します。
- ② 「選択」ボタンを押下すると、物質検索画面が表示されます。

- ③ 検索文字列(名称、CASNo.等)を入力します。

【補足】

- ・ 法規制で絞込みする場合は、法規制を選択して「絞り込み」ボタンを押下(⑦)します。
- ※全角/半角を区別して検索するため、日本語の場合は全角にて入力下さい。

- ④ 検索方法のボタンを押下します。

【補足】

- ・部分一致で検索されます。完全一致検索をする際は、「完全一致」のラジオボタンをチェックしてください。
- ・EC 番号で検索する際は、必ず「部分一致」で検索してください。

- ⑤ 検索結果の一覧から該当の物質をクリックして選択します。

- ⑥ 「選択」ボタンを押下します。

11.2. 物質情報の入力(「物質検索」機能を利用せずに、手入力する場合)

成分情報 ※ctrl+マウススクロールで拡大縮小					② 物質情報更新		削除	全クリア
物質					任意報告			
物質名	CAS番号	最大含有率(%)	コメント		<input type="checkbox"/> 一括			
選択	行追加				<input type="checkbox"/> 該当			
1 Toluene	108-88-3	50	コメント 1		<input type="checkbox"/>			
2 Formaldehyde	50-00-0	50	コメント 2		<input type="checkbox"/>			

- ① CAS 番号、名称を入力します。

- ② 「物質情報更新」ボタンを押下します。

【補足】

・「物質情報更新」ボタンを押下すると、CAS 番号をもとに、物質リストを検索します。検索で該当物質が存在した場合は、名称と法規制が更新されます。存在しない場合、名称は空欄になりますので、手入力してください。以降は「選択して入力」と同操作になります。

11.3. 物質含有率、コメント、該当情報の入力

成分情報 ※ctrl+マウススクロールで拡大縮小					物質情報更新		削除	全クリア
物質					任意報告			
物質名	CAS番号	最大含有率(%)	コメント		<input type="checkbox"/> 一括			
選択	行追加				<input type="checkbox"/> 該当			
1 Toluene	108-88-3	50	コメント 1		<input type="checkbox"/>			
2 Formaldehyde	50-00-0	50	コメント 2		<input type="checkbox"/>			

- ① 最大含有率(重量%)、コメントを入力します。

- ② 全ての法規制の”該当”列を確認します。

”該当”列のどこにも1や記号(A、D等)がついていない場合は、当該物質が chemSHERPA の管理対象物質ではないことを意味し、任意の報告となりますので、任意報告列の”該当”にチェ

ックをつけます (③)。

【補足】

- ・任意報告の「☐一括」にチェックすると、いずれの法規制にも該当しない全ての行の任意報告にチェックがつきます。

11.4. エラーチェックして、確定する

① 「エラーチェック」ボタンを押下します。

エラーがあった場合はエラー一覧画面が表示されますので、内容にあわせて修正下さい。

③ 「確定」ボタンを押下し、成分情報を確定します。

【補足】

- ・確定ボタンを押さないで画面移動した場合、本画面の入力内容は保持されます。

【補足】

確定すると、以下の画面にて入力状況が確認できます。

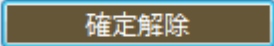
- ・成分情報上部の確定日時

確定日時 2014-10-28 15:28

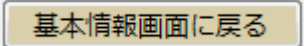
- ・基本情報画面の製品・部品一覧の入力状況

【補足】

・確定後は、「確定」ボタンの名称が「確定解除」に変更され、データの修正が出来なくなります。「確定解除」ボタンを押下すると、入力データが「一時保存」状態に戻り、修正可能になります。

確定解除**11.5. 他の画面に遷移する**

基本情報画面に移動する場合、「基本情報画面に戻る」ボタンを押下します。

基本情報画面に戻る

12. 作成済の chemSHERPA データを閲覧する

12.1. 作成済のデータを読み込む



- ① メニュー→「ファイル」→「開く」→「chemSHERPA データ形式」で、作成済データを選択します。

【注意!!!】

- ・本操作を行うと、現在の画面表示内容が、読み込んだデータの内容で上書きされます。
- ・パス名とファイル名を合わせた文字列の長さが 200 文字を超えると、読み込めない場合があります。

12.2. 承認済みデータかどうか確認する

基本情報画面の取り込み XML ステータスが「正規」となっていれば、承認済みのデータです。

【補足】

読み込んだデータのその他の情報は、基本情報画面の以下の項目で確認します。

- ・統合バージョン：データ作成に使用されたバージョン

12.3. 発行者・承認者情報を確認する

発行者・承認者情報は、基本情報画面で確認できます。

ファイル 会社情報 言語(Language) ツール			
■ 基本情報 画面			
発行者・承認者情報			
整理番号	*	test	
作成日	*	2014-12-12	
承認日	*	<yyyy-mm-dd>	
項目		英語	日本語
会社名	*	test company	テスト会社
担当者名	*		
コメント			
承認者名	*	syounin1	承認者 1

連絡先等の詳細情報は、メニューバーの「会社情報」→「入力」→「発行者・承認者情報」を選択し、発行者・承認者情報画面で確認できます。

ファイル 会社情報 言語(Language) ツール			
■ 基本情報 画面			



chemSHERPA-C1 (市販登録) Ver.1.0 発行済・承認済登録画面 ToolVersion: chemSHERPA-C1.00.00

《発行情報》 ひな形から登録 ひな形として登録 OK 企業は英語のみ

項目	英訳	日本語
機関ID		
会社ID		
会社名		
部署名		
担当者名		
e-mailアドレス		
電話番号		
FAX番号		
国		
郵便番号		
市町村		
郵便		

《承認情報》 ひな形から登録 ひな形として登録

項目	英訳	日本語
部署名		
役職		
承認者名		
e-mailアドレス		
電話番号		

12.4. その他の情報を確認する

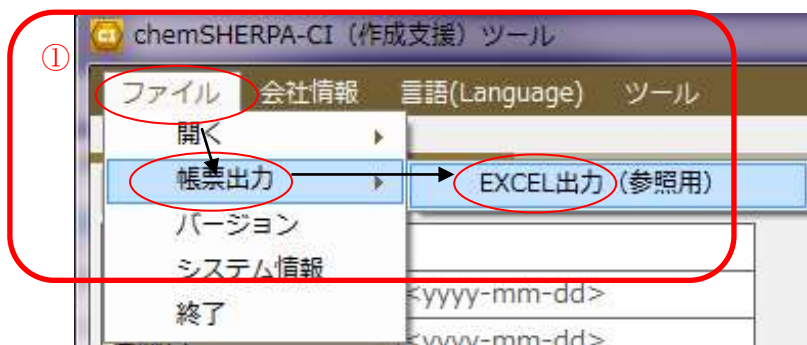
製品・部品情報を確認する → 「10.2 製品・部品情報を確認する」を参照ください。

成分情報を確認する → 「10.3 成分情報を確認する」を参照ください。

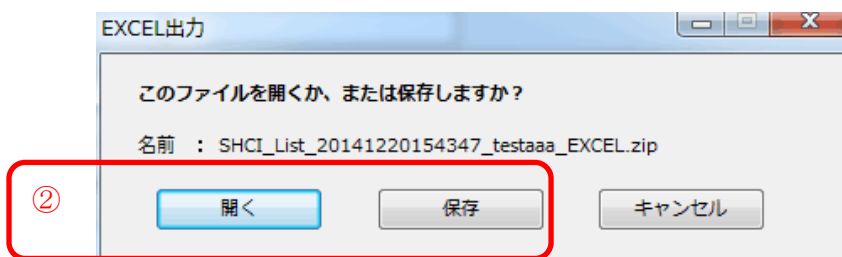
13. その他の機能

13.1. 帳票出力

Excel 形式の帳票を出力することができます。



① 画面の「ファイル」→「印刷」→EXCEL 出力（参照用）を選択します。



② 帳票の出力方法を選択します。

- ・帳票内容を参照する（EXCEL で開く）場合 → 「開く」を選択
- ・EXCEL ファイルを保存する場合 → 「保存」を選択
- ・出力をやめる場合 → 「キャンセル」を選択

【補足】

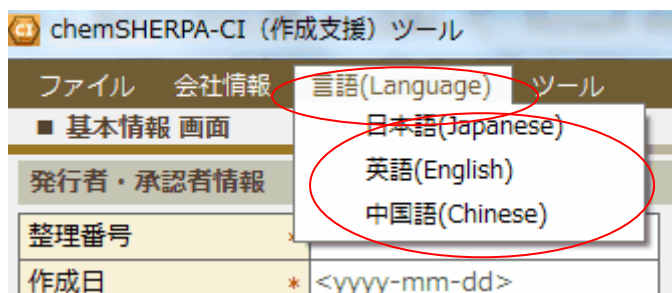
pdf 形式が必要な場合は、EXCEL 形式で表示後、EXCEL の機能（またはプリンタドライバ）で変換して下さい

【注意！！】

保存の際、保存先のパスやファイル名が長すぎるとエラーになる場合があります。また、製品品番をファイル名に持つファイルを内包するため、製品品番が長すぎるとエラーになることがあります。目安として、保存先フォルダのパス長＋製品品番の文字列長が 200 を超えない程度にしてください。

13.2. 表示言語の切替

本ツールは日本語、英語、中国語に対応しています。他の言語で使用したい場合の切替方法をご説明します。



- ・ 基本情報画面の「言語(Language)」で言語を選択します。

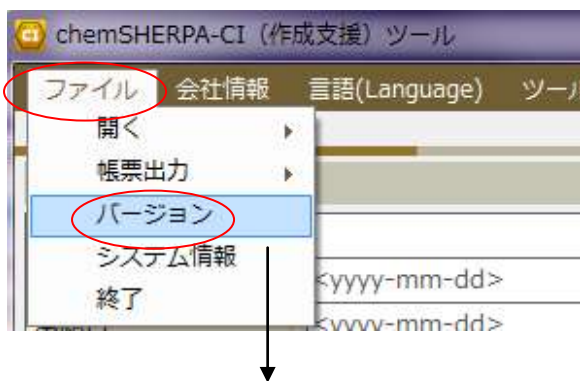
【補足】

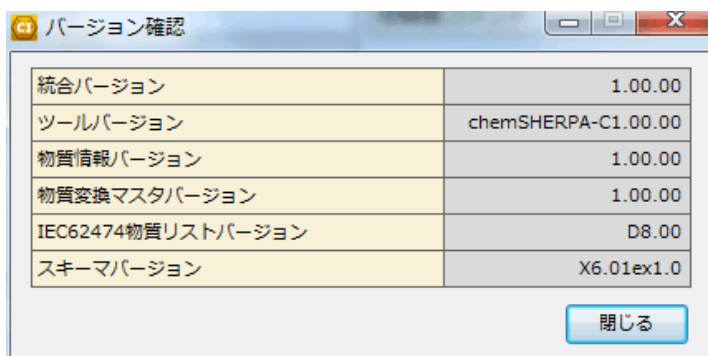
- ・ 選択された言語はツール終了時に保存され、次回起動時は保存された言語で起動されます
- ・ 言語の切替により切り替わる画面の範囲は、項目名やメッセージ、マスタ化されている化学物質名のみで、その他の情報は切り替わりません

13.3. バージョンの確認

13.3.1. ツールのバージョン、ツールが利用している外部リストのバージョン

- ・ 基本情報画面の「ファイル」→「バージョン」を選択します。





13.3.2. 作成済データ引用した場合のバージョン

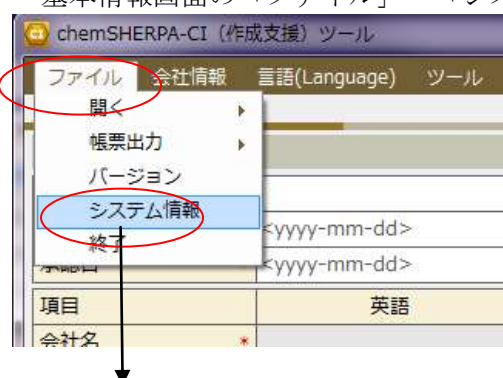
- ・ 基本情報画面の製品・部品情報の「管理情報」チェックすると、製品・部品情報ごとのバージョンが確認できます。
- ・ 成分情報を更新し、基本情報画面に移動した段階で、統合バージョンの値は最新のバージョン情報に書き換えられます。

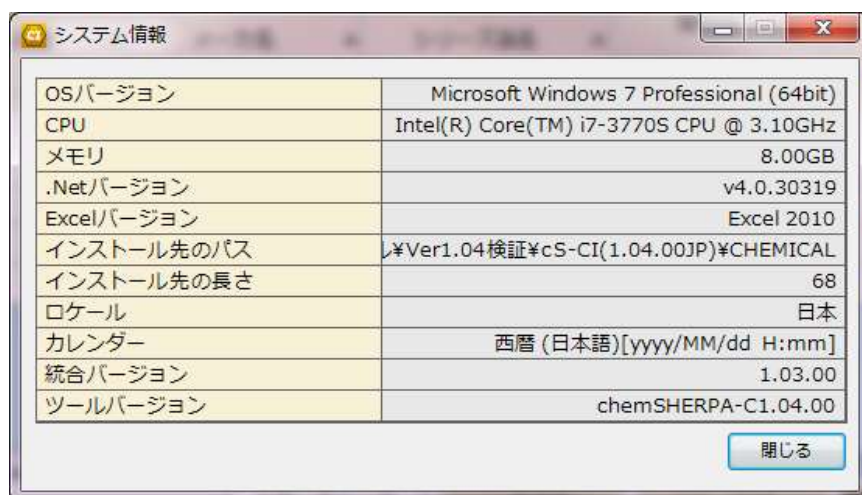


13.4. システム情報の確認

13.4.1. ツールを起動しているコンピュータのシステム情報

- ・ 基本情報画面の「ファイル」→「システム情報」を選択します。





※情報が取得できなかった場合は空欄で表示されます。

13.5. 出力状況の確認

基本情報画面の「出力状況」列にて、製品のデータ出力有無を確認する事ができます。

出力状況
正規データ出力済
一時保存データ出力済
依頼データ出力済

- ・ 正規データ出力済 → 出力（承認）ボタンより承認され、正規データとして出力済
- ・ 一時保存データ出力済 → 一時保存ボタンより一時保存データとして出力済
- ・ 依頼データ出力済 → 出力（依頼）ボタンより依頼データとして出力済

【注意！！】

出力状況確認機能は、複数製品がある場合に、どの製品が出力済みなのかを確認するための一時的な補助機能であり、ツールを終了した場合、出力状況ステータスはクリアされます。

13.6. 画面サイズ変更

各画面右上の最大化ボタン押下時や、画面端をドラッグする事で画面サイズを任意に変更する事ができます。

※ツール起動時のデフォルトサイズ以下には変更できません。

13.7. データ部分のサイズ変更

基本情報画面、成分情報画面にて Ctrl キー+マウスホイールにてデータ部分の画面サイズを変更する事ができます。

縮小時

製品・部品情報								
製品情報					管理情報			
全選択	依頼者情報		製品情報		入力状況	出力状況	取込XMLステータス	続
	製品名	製品番号	製品名	製品番号	成分情報			
1	依頼製品-001	req-seihin001	製品 1	seihin-01	2015-03-05 13:21指定		正検	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								

【補足】

- ・ ツールを終了した場合、拡大率は初期状態に戻ります。

13.8. ソート機能

基本情報画面の各項目の右側についている△▽ボタンを押下する事で、昇順→降順でソートを行う事ができます。

製品名	製品品番	メーカー名

14. 補足情報

Q 1 : 複数製品を出力したファイルを、製品ごとのファイルに分割することはできないか。

A 1 : 次の方法で、製品ごとの xml ファイルに分割できます。

- ①ファイルの拡張子“.shci”を“.zip”に書き換える。
- ②ファイルを右クリックして、「解凍」を選択する。

Q 2 : 基本情報画面に「クリア」ボタンなどがないが、新たに情報を作り直す場合はどうしたらよいか。

A 2 : 「全選択」をチェックして、「削除」を押すと、製品情報がすべてクリアされます。

Q 3 : JGPSSI のように、製品ごとの情報をまるごとコピー（行コピー）できるとよい。シリーズ製品が並ぶ場合は、コピーして相違点のみを修正する方法を採用したい。

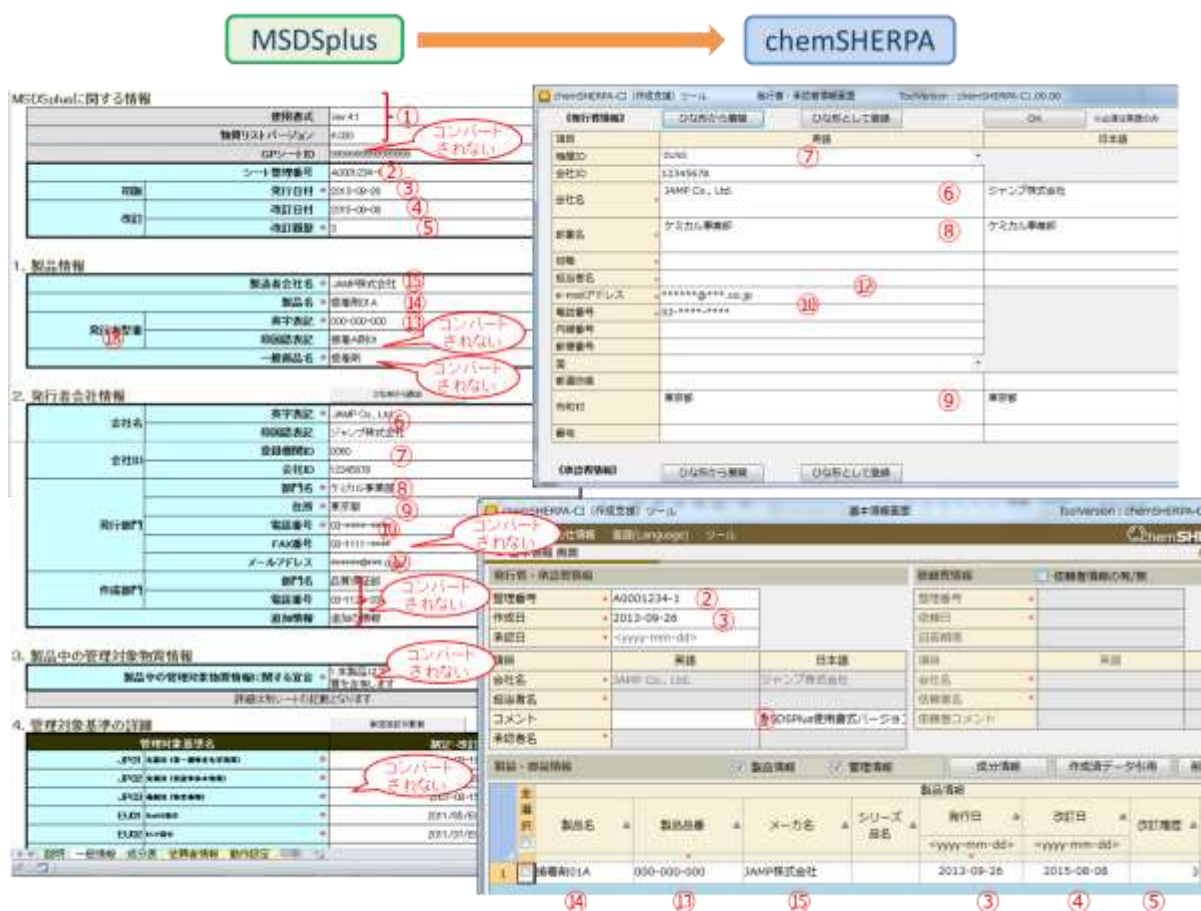
A 3 : まず 1 製品分のデータを作成して出力し、他の製品に対しては「作成済みデータの引用」をすれば、現状でも効率的にデータを作成できます。

Q 4 : 任意報告物質について特定の規制にフラグを立てた MSDSplus のファイルを chemSHERPA に読み込むと規制フラグがつきません。

A 4 : chemSHERPA では、規制フラグをユーザが立てることはできません。規制に該当していることを相手先に伝えたい場合は、総称名が検索物質リストある場合には総称名（例えば「鉛／鉛化合物」）を選択して、コメント欄に CAS 番号をお書きいただくか、総称名が検索物質リストにない場合は、コメント欄に該当規制をお書きください。

15. MSDSplus→chemSHERPA コンバート仕様

(1) MSDSplus の「一般情報」シート上の情報のコンバート



※1：⑦会社 ID/登録機関 ID は、ID を文字に変換してコンバート（0060→DUNS, 0147→CII）します。

※2: ⑧発行部門名、⑨発行部門住所は、言語が不定のため、英語とローカル言語の両方にコンバートします。英語の項目に全角文字がコンバートされた場合、エラーチェック時にエラーとなりますので、適宜修正してください。

※3：⑨発行部門住所は、便宜上、「市町村」にコンバートします。

※4：製品の管理対象物質に関する宣言はコンバートしません。chemSHERPA では成分情報画面で宣言しますが、コンバートしたのち、「物質情報更新」ボタンを押下して、chemSHERPA の物質リストに関して改めて宣言してください。

※5：発行者の役職、担当者名など、chemSHERPA で必須の項目を追記する必要があります。

(2) MSDSplus の「依頼者情報」シート上の情報のコンバート

依頼者情報はコンバートされません。

(3)MSDSplus の「成分情報」シート上の情報のコンバート

MSDSplus
JAMP MSDSplus
3.製品中の管理対象物質情報

成分表印刷化
選択行削除
物質情報更新
エラーチェック
XML一時保存
XML出力

物質				管理対象基準 注1									
物質名	CAS番号	最大含有率	備考 注2	JP01	JP02	JP03	EU01	EU02	EU03	EU04	EU05	EU06	
Toluene	108-88-3	0.2%		該当	該当	該当	該当	該当	該当	該当	該当	該当	
Silica, Crystalline	14808-60-7	15.0%											

chemSHERPA

chemSHERPA-CL (作成支援) ツール
成分情報画面
ToolVersion: chemSHERPA-CL.00.00

製品品番: 000-000-000
製品名: 揮発性101A
管理対象物質の含有有無: *

物質				任意報告			
物質名	CAS番号	最大含有率(%)	コメント	一括	LR01	LR02	LR03
トルエン	108-88-3	0.2		該当			
石英(結晶)	14808-60-7	15		該当			

注1: 製品を構成する物質のうち、対象管理基準の管理対象物質となっている物質が含まれている(登録して追加している)または「なんらかの方法で含有が既知」という情報がある場合は「1」または「含有時の記号」と記録しています。
注2: 「1」または「含有時の記号」の場合でも必ずしも法規制対象とはなりません。用途や使用条件等によりしますのでご確認ください。
注3: その他、記録として「JAMP MSDSplus作成の手引き」及び「JAMP管理対象物質一覧書」及び「JAMP管理対象物質説明書」をご参照ください。
注4: 当社は、MSDSplusに記録している事項については十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

※1: 物質のコンバートでは、MSDSplus の CAS 番号（または SN 番号）をキーとして chemSHERPA の検索性物質リストから物質名を取得し、設定します。chemSHERPA の検索性物質リストに該当する CAS 番号が無い場合は、MSDSplus の物質名をそのまま設定します。任意報告物質として報告するか、削除してください。

※2: 規制フラグはコンバートされません。

※3: コンバートしたのち、必ず「物質情報更新」ボタンを押下して chemSHERPA の検索性物質リストとの照合を行ってください。chemSHERPA の検索性物質リストにない物質は「任意報告物質」として報告してください。また、管理対象物質の含有有無を入力してください。